2018鹿央里やま蓮まつり「俳句コンテスト」についての講評

選者 山鹿市公民館講座講師 瀬口 忠一 平成30年8月8日(水)

今夏は「命にかかわる危険な暑さ」という言葉を連日のように耳にしました。歴史的な猛暑にもかかわらず、「蓮まつり」は例年のように賑わったようです。美しい自然環境を生かしながら、年毎に人の手が加わって施設るが備も整備され、充実していくことで、心地よい一時を過ごせる魅力があるからでしょうか。リピーターも多いようです。「蓮まつり」の前後と、初めまらでした。りの5回ほど訪ねてみました。開花が間に合うのか、との根とは、終わりの5回ほど訪ねていなかったからでした。また講評を纏めたました。古代ハス園の一部では、まだ見ごろの蕾や花を目にすることが出来ました。

投句に添えられたお手紙には、何よりも蓮や睡蓮の美しさに感動したことが、認めてありました。私も同感ですが、中でも昨年デビューした「千弁蓮」に興味がありましたので、注目して観察してみました。人が蕾を広げてやらないと開花出来ないのか、図鑑に見るような濃紫色の花弁が見えるところまで自力開花が進むのかなど、小柄で珍しい、薄桃色の驚きの蓮は、まだなぞに包まれています。係の人の話では、実を結べないので、地下茎を移植して大切に植培しているとのことでした。

千弁を纏ふ蓮の不思議かな (選者句)

ところで、今年の応募者・作品数は次のとおりでした。

() は前年度比の増減数

一般の部41名(-25)122句(-65)高校生以下の部362名(243)530句(370)〈子どもの部〉

選者を中心に、実行委員会・事務局で次の観点から審査を進めてまいりました。

- (1) 蓮や睡蓮の美しさ、「里やま」の自然の豊かさや情景など
- (2) 「蓮まつり」を支える人々への思い、県立装飾古墳館、鹿央古代の森交流施設「里やま」、鹿央物産館などの施設の内容、イベント、働く人々など
- (3) 自然や人間を大切にする気持ちで写生して俳句をつくること
- (4) 楷書で読みやすく書き、素直に自分を表現すること

一般の部、高校生以下の部それぞれに、感動を素直に表現した秀句が多く 見受けられました。多数のご投句、誠にありがとうございました。



~審査の様子~

般 ഗ 部

天賞 Ł 大指 賀 の 蓮 は 红 を

湯 湯 油 市 友二

様

光点 默· 深 加藤市.

古賀福岡県

様

様

寿美代

人賞

地賞

4

の

目が

缐

に

蓮

0

今

地 賞

今哭きし

ば

か

4)

蓮

の

ハ ス 池^ゲ に

45%

0) 才

ブ

エ

の

聳

え

け

ŋ

る

7 بع 赮

め بح ば 1 る

人賞

小清

水

人賞

道なな

池や

観

る 4 بح

護

る

7

بح

水清

か 今

綿貫 淑子福岡県柳川市

黒山 田 恵 市 純子町

様

脇山 熊本市 仁美

様

様

入 選 入選 入 選 入 選 入 選 入 選 入 選 入 選 入 選 入 選 **绳**ジョウモン 母公 蓮常 蓮常 蓮菜 蓮常 睡 真 0) 支 池 蓮 め に 0 家 を に 老 の ル 0 搖 1) **今** め 渡 思幸 **今**[‡] 水炭 11 年 く 腌草 ヒラ る 闸 7 を ろ は を、、 M か 柔^ かゞ は ノヽ ょ 馳 ん ゃ か わ 4) ŋ ス 匂 包 确 せ か بح 姬 ん 0 ٤, る 蓮☆ き 峥 蜂 上空 ノヽ 現 蓮☆ 里, 蓮常 風地 止 ス 神 は の 飛 # の 0 を 0 る る く 園 声 1) 色 膳 尾 る 大川 川川 植田田市 紙田県1 前田 熊本市 木原 山鹿市: 馬 場 毛 名 市 末 作 郡 丸山 山鹿市 猿渡福岡県1 水岡 本県 八 県 幻草のおき 章校通 澄子 洋子やま 博子 辰次 邦伊 みえ子 忠 好 子勢原 貫 雄 Ш 市 市 市 町 様 様 様 様 様 様 様 様 様 様

【子どもの部

天賞 いちゃ ん の カ メ ラ の メ モ IJ 運だらけ 原米 原野

地賞 地賞 蓮常 ぼ く の たち ŧ 蓮沒 迦 を 見 襮 鸦台 か **,** 5 發 () 根 を 船 白坂 仁之介 米野岳中一年 浦上 大和城北高三年 さん さん

蓮☆ の トンボ と、共に ダンシング 滝下 珠衣城北高三年 さん

心落ち着く みとれ 7 お発見だ 蓮浴 の発 飯星 愛梨米野岳中一年 朝倉 辰巳

さん

さん

人賞

鹿

央

の美

人賞

か

えるたち

ハスに

人賞

入 選 入 選 入 選 入 選 入 選 入選 入 選 入 選 入 入 選 選 光 時 塒 広 蓮常 蓮洋 番れる 蓮常 水菜 鲜 # め 4 あ 空 边 め の の を一起え 老 老 く つり (15 C ょ か ŋ う 冬 7 古ダイ き 伸 1 この地に咲い 5 代 **经工**分 鹿 び き の笑顔 の風吹く 央のえ化 ボ飛び交う 再び咲い わ きら 蓮 7 水 だ 0 つべただっ 面 が く ょ を 弁 た 唉 た 火 蓮洋 蓮常 鹿 覆準 き 大がハス 央 ほ 大質 # 蓮* **Ø** 0 如 代 賀 0) 0 こる H 池 蓮 蓮 蓮 ŋ 1) M 1 地 一城 勇天米野岳中三年 右田 哲也高校三年 廣田 城北高: 山内 城北高校 堤 耕太城北高三年 星子 堪北高: 田北高: 原口版北高: 井野岳· 竹崎 米野岳 泰校泰 優妃年 李里華 悠翔年 華捺年 郁美 中三年 成 さん さん さん さん さん さん さん さん さん さん